



牡蠣まつりのイベントと言えば、やっぱり『牡蠣のつかみどり』



サンマのつかみどりも人気のイベントです



ホタテやツブなど新鮮な魚介類も販売



美味しいものを食べると自然と笑顔になりますよね



岸壁にサンマ漁船、ござ～るならではの風景です



すごい盛況ぶりでした

# 秋の厚岸は大盛況！

## 牡蠣の魅力が人を呼ぶ



大通公園で厚岸をPR  
「牡蠣いかがですか！厚岸の牡蠣です！」  
札幌大通公園の中に響き渡る声と焼き牡蠣の匂いが、来場者を引き寄せる。  
9月27日・28日の両日、「札幌オータムフェスト2008・8丁目札幌大通ふると市場」に参加し、厚岸の特産品販売や牡蠣まつりのPRを行いました。  
このオータムフェスト2008は、9月19日から10月5日まで行われた、北海道の『食』をテーマとしたイベントで、8丁目札幌大通ふると市場には、道内から約100市町村が週替わりで出店しました。



注文に間に合わずバーナーを使うはめに



子供からお年寄り、外国人も買いに訪れました

### 2日間で1万個を販売

初日は肌寒いうえに雨が降ったり止んだり、屋外イベントとしては最悪のコンディション。しかし2日目は天候も回復し、会場は、歩くのもままならないほど。  
両日とも、開始時間前から焼き牡蠣や海産物を目当てにしたお客さんが訪れ、ピーク時には焼き牡蠣を求め60人ほどの行列ができる盛況ぶりを見せました。  
焼き牡蠣を買った札幌市民に感想を聞いてみると、「毎年、厚岸の牡蠣を楽しみにして来ている。やっぱり本場の牡蠣は美味しい」と笑顔で話してくれました。



厚岸町は行列ができるので毎年『角』での販売です



会場入口に設けられたアーケードもおしゃれです

41、700人の来場者  
「焼き台は全て出払っています。すいませんがもう少しお待ちください」  
10月4日から13日までの10日間、子野日公園を会場に第46回あつけし牡蠣まつりが開催されました。特にイベントが行われた日曜日は天候にも恵まれ、町内外から多くの人が訪れました。  
期間中、子野日公園に訪れた人は、41,700人。特に12日(日)は14,000人が訪れ、用意していた貸出用の約2000台の焼き台は全て貸し出され、一時は台が空くの待つ行列もできたほどです。

帯広市から来ていた40人ほどの団体の皆さんは、「以前から牡蠣まつりには来ている。会場の雰囲気もいいし、なんていっても魚介類が新鮮。また来年も来るよ」と、慣れた手つきで牡蠣を焼いていました。  
他のイベントも大盛況  
牡蠣まつり期間中の12日には「第10回厚岸食体験交流イベント・カキDEござる」、第8回厚岸漁業協同組合感謝祭も開催され、カキをはじめとする新鮮な魚介類を味わおうと、大勢の観光客でにぎわいをみせました。